

幹事会 中間報告

● 結論

「ごみの広域処理は可能である」と判断

1 ごみ処理の現状等の確認・比較

関係市と東村山市とで、**大きな差はない。**

2 施設の規模（処理能力）

①新施設について

国・都の方向性との整合性が図れる施設建設が可能。

②柳泉園クリーンポートについて

焼却処理能力より、**将来的な受け入れが可能。**

3 搬入車両台数

ピーク時と比較し少なく、周辺道路への影響はない。

ごみ処理の現状等を確認・比較 ▼

● 関係市と東村山市とで、大きな差はない

- ごみ種別・収集形態・収集頻度の比較において、大きな差はない。
- 可燃ごみの組成分析の比較において、焼却炉に与える特段の支障はない。
- ごみ処理フローの比較において、
4市ともに、焼却残さはエコセメント化で共通。
- 柳泉園組合は、東村山市と焼却ごみ1 tあたりの経費は、ほぼ同様であるが、ごみ処理手数料や売電収入などの歳入が多く、トータルとして、コストパフォーマンスが優れている。
- ごみ排出量の将来推計において、東村山市は関係市同様、減少。

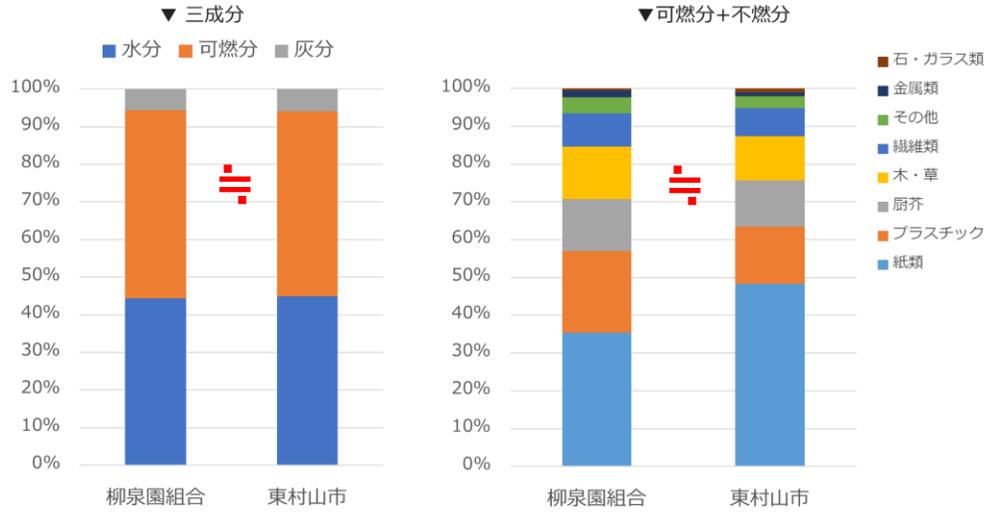
1 ごみ処理の現状等の確認・比較

● ごみ種別・収集形態・収集頻度

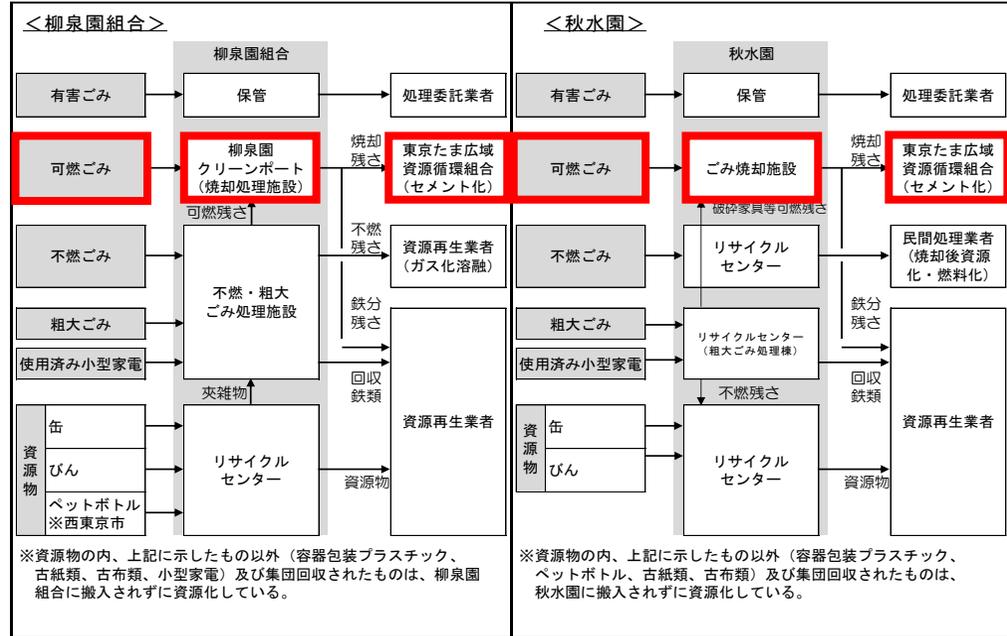
各市一般廃棄物処理基本計画等より

種別	清瀬市	東久留米市	西東京市	東村山市
可燃ごみ	戸別・週2回	同左	同左	同左
不燃ごみ	戸別・週1回	同左	戸別・2週に1回	戸別・月1回
粗大ごみ	戸別・随時	同左	同左	同左
有害ごみ	拠点・週1回	戸別・週1回	戸別・2週に1回	戸別・週1回
資源物				
びん	ステーション・週1回	戸別・週2回	戸別・2週に1回	戸別・週1回
かん	ステーション・週1回	戸別・週1回	戸別・2週に1回	戸別・週1回
容器包装プラスチック	戸別・週1回	同左	同左	同左
ペットボトル	戸別・週1回	同左	同左	同左
古紙・古布	ステーション・週1回	戸別・週1回	戸別・2週に1回	戸別・月2回
使用済み小型家電	拠点回収	同左	戸別・4週に1回	戸別・週1回
その他				
剪定枝	戸別・随時	戸別・随時	戸別・週2回	同左
落ち葉	戸別・週2回 (11月、12月)	戸別・週2回	同左	同左
廃食用油	市窓口回収	-	戸別・4週に1回	-

● 可燃ごみの組成分析 (令和元～5年度の5カ年平均)



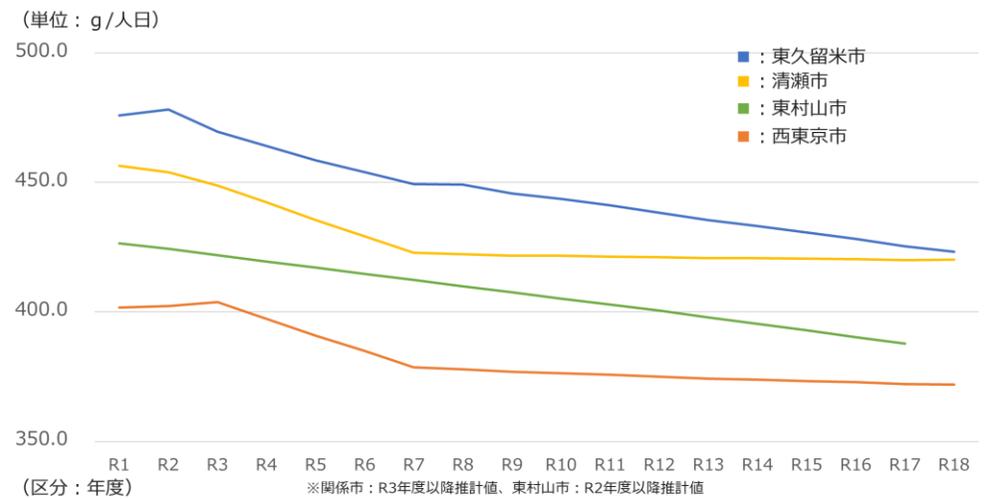
● ごみ処理フロー



● 1人1日当たりの可燃ごみ排出量

各市一般廃棄物処理基本計画等より

※東村山市の将来推計はR17年度まで



2 施設の規模（処理能力） - 新施設について

● 国・都の方向性との整合性が図れる施設建設が可能

※ 東村山市の推計が令和17年度までのため、令和17年度を計画目標年次として試算。

柳泉園組合（関係市） ▼

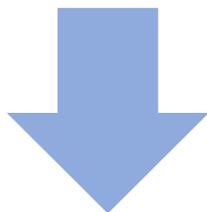
(年間焼却処理量÷年間日数) ÷ 実稼働率

$$= (61,248\text{t}/\text{年} \div 366\text{日}) \div ((365\text{日} - 75\text{日}) \div 365\text{日})$$

$$\doteq 210.6\text{ t} / \text{日}$$

災害廃棄物処理量（上記の10%）を見込む場合

$$\doteq \mathbf{231.7\text{ t} / \text{日}} (< 300\text{t}/\text{日})$$



東村山市を加えた場合（20,328t/年）

$$\{ (81,576\text{t}/\text{年} \div 366\text{日}) \div ((365\text{日} - 75\text{日}) \div 365\text{日}) \} \times 1.1$$

$$\mathbf{308.6\text{ t} / \text{日}} (> 300\text{t}/\text{日})$$

<p>厚生省 (H8~9年度)</p>	<p>「ごみ処理に係るダイオキシン類の削減対策について」「ごみ処理の広域化計画について」発出</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 主な目的：ごみ処理に伴う ダイオキシン類の排出削減 ・ 都道府県に対し「広域化計画」策定を要請。 ・ 広域化ブロック区割りは、可能な限り 300t/日以上、最低でも100t/日以上の全連続式ごみ焼却施設が設置できるよう要請
<p>東京都 (H10年度)</p>	<p>「東京都ごみ処理広域化計画」策定（計画期間：H10~19年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 重点目標：原則として全連続式100t/日以上の施設規模とする、小規模施設の解消 他2点
<p>環境省 (H30年度)</p>	<p>「持続可能な適正処理の確保に向けた ごみ処理の広域化及びごみ処理施設の集約化について（通知）」発出</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 主な目的：将来にわたり 持続可能な適正処理を確保 ・ 都道府県に対し「広域化・集約化計画」策定を要請。 ・ エネルギー利活用の観点から、100t/以上の設置を、既に100t/以上の地域は、300t/日以上を検討することを要請。
<p>東京都 (R4年度)</p>	<p>「東京都における今後のごみ処理の広域化・ごみ処理施設の集約化の方向性」策定（計画期間：R4~13年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 旧計画の重点目標：100t/日未満の小規模施設解消を含め、すべて達成（※島しょ地域除く） ・ 引き続き、原則として 100t/日以上のごみ焼却施設の設置を目指し、地域の実情等も踏まえ、300t/日以上の設置も検討
<p>環境省 (R5年度)</p>	<p>「廃棄物処理施設整備計画」閣議決定（計画期間：R5~9年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 重点目標：計画期間中に整備されたごみ焼却施設の発電効率の平均値 20%→22% 他 ・ 持続可能な適正処理の確保のため、広域化・集約化への一層の取組みが必要とし、300t/日以上の施設導入の必要性を明記。 ・ 国の極めて厳しい財政状況を踏まえ、広域化・集約化等国が推進する施策への取組状況を踏まえた国の予算配分、支援の重点化の検討の必要性を明記。
<p>環境省 (R5年度)</p>	<p>「中長期における持続可能な適正処理の確保に向けた ごみ処理の広域化及びごみ処理施設の集約化について（通知）」発出</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 主な目的：将来にわたり持続可能な適正処理を確保し、同時に脱炭素化も推進 ・ 都道府県に対し、2050年度までを計画期間とする、「長期広域化・集約化計画」策定を要請。 ・ 2050CN達成に向けた1つの推計として、300t/日以上の施設導入割合を増加させる必要性が示唆されていることを提示 ・ 600t/日以上の施設設置を含め検討することに言及。

2 施設の規模（処理能力） - 柳泉園クリーンポートについて

● 焼却処理能力より、将来的な受け入れが可能。

下表は、柳泉園クリーンポート焼却処理可能量（86,279 t /年）に対する、焼却処理量の推計。

焼却処理量と焼却処理可能量を比較すると、**令和10年度には処理量が処理可能量を下回り、処理が可能。**

● 焼却処理量比較

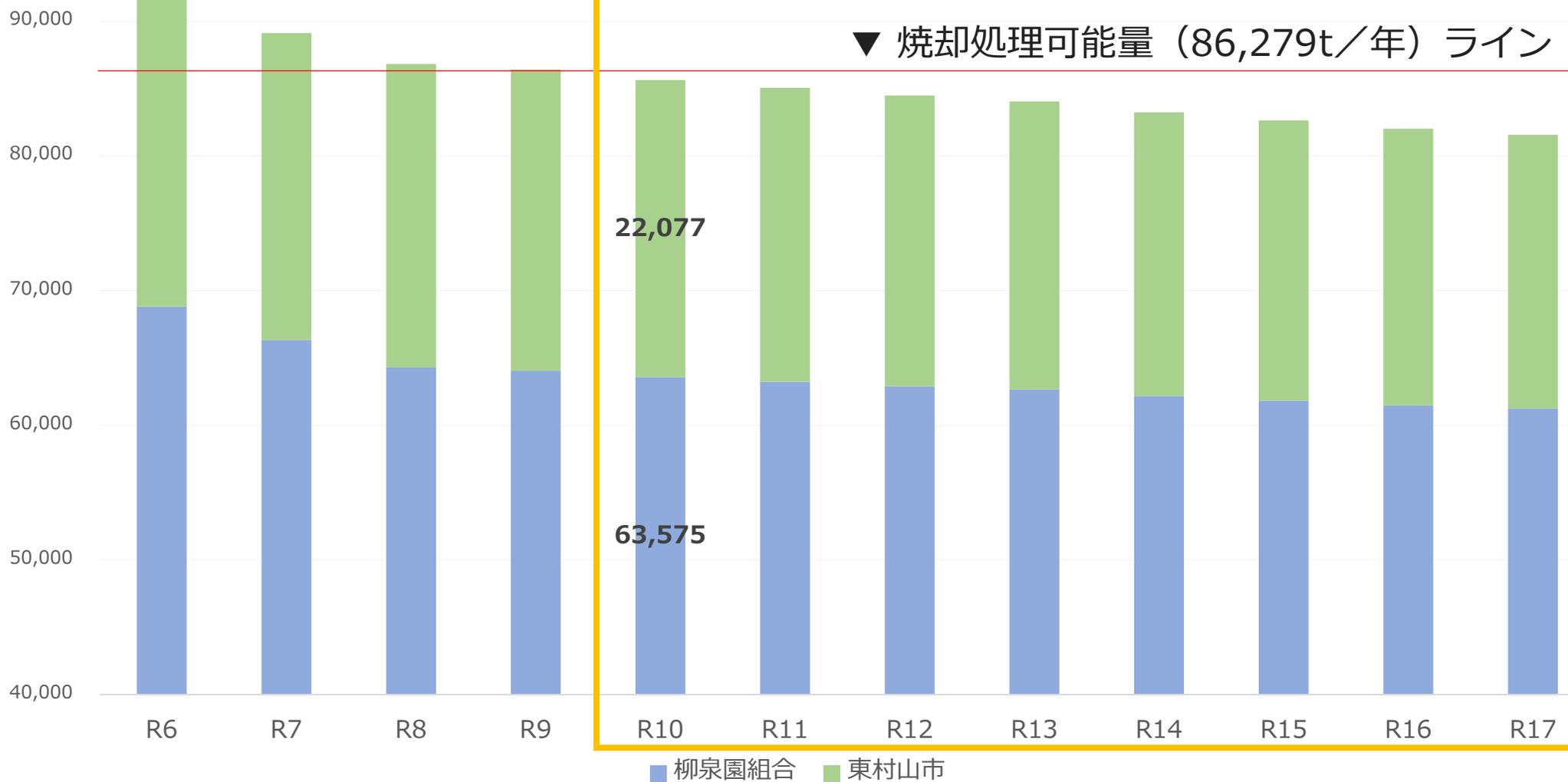
(単位:t、年度)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
清瀬市	11,569	11,349	11,290	11,257	11,176	11,119	11,057	11,016	10,932	10,869	10,807	10,767
東久留米市	18,896	18,632	18,550	18,389	18,180	18,005	17,829	17,699	17,492	17,331	17,171	17,014
西東京市	28,911	28,443	28,355	28,327	28,185	28,103	28,023	27,983	27,831	27,738	27,646	27,613
関係市粗大可燃分等	9,455	7,909	6,087	6,075	6,034	6,011	5,982	5,969	5,925	5,901	5,870	5,854
小 計	68,831	66,333	64,282	64,048	63,575	63,238	62,891	62,667	62,180	61,839	61,494	61,248
東村山市	22,354	22,121	21,886	21,707	21,407	21,166	20,921	20,716	20,397	20,133	19,869	19,658
東村山市粗大可燃分等	670	670	670	670	670	670	670	670	670	670	670	670
小 計	23,024	22,791	22,556	22,377	22,077	21,836	21,591	21,386	21,067	20,803	20,539	20,328
合 計	91,855	89,124	86,838	86,425	85,652	85,074	84,482	84,053	83,247	82,642	82,033	81,576
焼却処理可能量対比	5,576	2,845	559	146	▲ 627	▲ 1,205	▲ 1,797	▲ 2,226	▲ 3,032	▲ 3,637	▲ 4,246	▲ 4,703

※焼却処理可能量対比＝焼却処理量 合計－焼却処理可能量(86,279t/年)

※関係市焼却処理量：関係市及び柳泉園組合一般廃棄物処理基本計画

※東村山市焼却処理量：東村山市一般廃棄物処理基本計画、東村山市ごみ焼却施設整備基本計画検討委員会資料

(単位：t)



3 搬入車両台数

● ピーク時と比較し少なく、周辺道路への影響はない。

柳泉園組合における搬入車両台数のピークは、平成3年度で、73,727台。

過去5年度における、柳泉園組合及び東村山市の搬入車両台数実績は、下表のとおり。

東村山市の搬入車両台数を加算しても、いずれもピーク時を下回る。

また、平成3年度当時と比較し、プラットホームは広く、搬入口も多くなっていることもあり、問題無く対応できる。なお、搬入車両の増加による周辺道路への影響については、敷地内の道路を活用することで、場外に搬入車両が並ぶことがないよう対応することが可能。

●搬入車両台数実績 ※1日当たりの台数は、計を208日(搬入日数)で除した数値。

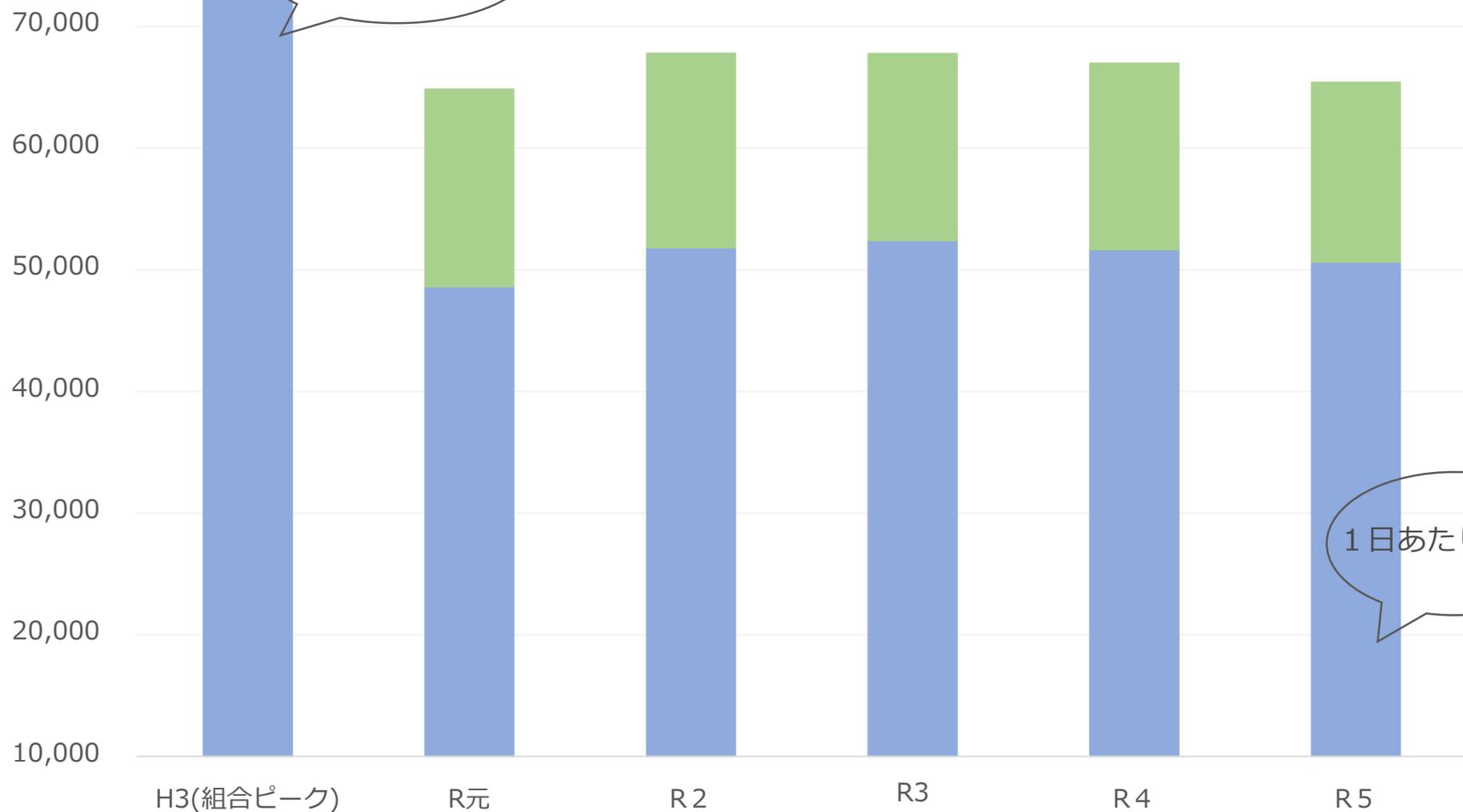
(単位:台、年度)	組合ピーク (H3年度)	R元	R2	R3	R4	R5
柳泉園組合						
公車 ※他市搬入分を除く	58,087	26,840	27,241	26,924	26,433	25,916
私車	15,640	21,764	24,581	25,485	25,237	24,722
計	73,727	48,604	51,822	52,409	51,670	50,638
1日当たりの台数 ※計÷搬入日数(208日)	354	234	249	252	248	243
東村山市						
公車		9,757	9,818	9,458	9,341	9,054
私車		6,489	6,155	5,909	5,960	5,712
計		16,246	15,973	15,367	15,301	14,766
1日当たりの台数 ※計÷搬入日数(208日)		78	77	74	74	71
柳泉園組合+東村山市						
計		64,850	67,795	67,776	66,971	65,404
1日当たりの台数		312	326	326	322	314
組合ピーク時との比較(計)		▲ 8,877	▲ 5,932	▲ 5,951	▲ 6,756	▲ 8,323
組合ピーク時との比較(台/日)		▲ 42	▲ 28	▲ 28	▲ 32	▲ 40

3 搬入車両台数

柳泉園組合 東村山市

(単位：台)

▼ 搬入車両台数ピーク（73,727台/年）ライン



1日あたり354台

1日あたり314台